

2021年5月14日

各 位

会 社 名 データセクション株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 林 健 人
 (コード番号：3905 東証マザーズ)
 問い合わせ先 取締役 CFO 望 月 俊 男

特別損失の計上及び

通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2021年3月期において、下記のとおり特別損失（減損損失）を計上いたしましたのでお知らせいたします。

また、2020年9月18日付「業績予想の公表に関するお知らせ」にて公表いたしました2021年3月期の通期業績予想と、本日公表の実績値との差異について、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社が所有している無形固定資産（ソフトウェア）に関し、固定資産の減損に係る会計基準に基づき回収可能性を評価し、約14百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。これは、より収益性の高いソフトウェアの販売に注力するため一部のソフトウェアに関し将来の収益性について見直しを行ったことに伴うものであります。

2. 2021年3月期 通期業績予想と実績との差異について

(1) 連結業績予想数値と実績値との差異（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純 利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,300 ～1,500	△50 ～80	△60 ～70	△83 ～3	△6.09 ～0.23
今回実績 (B)	1,389	18	31	△41	△3.02
増減額 (B - A)	89 ～△111	68 ～△62	91 ～△39	42 ～△44	—

増減率（％）	6.8% ～△7.4%	— ～△77.5%	— ～△55.7%	—	—
（参考）前期連結実績 （2020年3月期）	1,168	14	5	△17	△1.40

（2）差異が生じた理由

売上高につきましては、2020年9月18日の公表では、既存サービスが堅調に推移した際の下限値を1,300百万円とし、海外展開や新規サービスの成長を見込んだ上限値を1,500百万円として見込んでおりました。海外展開につきましては、新型コロナウイルス感染症の対応策として世界の各都市で行われたロックダウンに伴う店舗休業の影響で、一時的に売上が減少したものの、各都市の経済活動の再開とともに回復いたしました。また、新規サービスにおいては、より将来性の高い事業領域に注力するため事業の選択と集中を行う中で収益の伸びが予想の上限に届かない結果となりました。これらにより、売上高は業績予想レンジの上限は下回るものの下限は上回る結果となりました。

売上高が上記のとおりとなったことに伴い、営業利益及び経常利益につきましても、業績予想レンジの上限は下回るものの下限は上回る結果となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、業績予想レンジの上限を下回ったものの下限を上回る結果となりましたが、上記に加え、「1. 特別損失の計上について」に記載した特別損失の計上や法人税等の計上により、親会社株主に帰属する当期純損失となりました。なお、2022年3月期からは、連結納税制度を適用することにより、タックスマネジメントを図りグループ全体でのキャッシュ・フローの改善を図ります。

以上